

**敦賀港長期構想（案）に関する  
県民パブリックコメント意見募集の結果と県の考え方**

No.	意見	意見に対する県の考え方
1	訪れた人が散策できる統一した街並みの景観整備や歩道の整備など、港を中心とした散策できる街づくりを提案する。海を眺めていられる施設や飲食店、温泉施設等ある程度の施設がまとめてあると敦賀市民も利用しやすい。	金ヶ崎周辺において人道の港敦賀ムゼウムがリニューアルオープンしたのをはじめ、民間の飲食・物販施設の誘致が計画されており、今後の様々な施策に、県、市、地元関係団体の協働により取り組んでいきます。  (施策Ⅳ 港を中心とした観光誘致)
2	金ヶ崎緑地に複合商業施設などがあるとよい。	
3	金ヶ崎にクルーザーや高級ヨット専門のヨットハーバー、少人数宿泊のホテル等があるとよい。	
4	釣り公園、キャンプ場、ヨットハーバー等のレクリエーション施設を増やしてほしい。	
5	夏場の海水浴に、水島への渡し船が金ヶ崎から出ると市外や県外の旅行客にとって利用しやすくなる。	遊覧船の運航等の新たな取り組みの一つとして検討していきます。  (施策Ⅳ 港を中心とした観光誘致)
6	この構想のプロジェクトを着実に推進していくために、進捗状況確認や課題解決に向けた議論をする機会があるとよい。	長期構想に位置付けた主要施策、プロジェクトについて、進捗状況を確認し、必要に応じて課題解決に向けた議論をしながら取り組んでいきます。
7	金沢港のようにクルーズターミナル施設を建設しクルーズ客船や自衛艦等大型船の入港を増やしてほしい。	クルーズ船や大型船の誘致を進め、川崎・松栄地区に交流拠点となるクルーズ・国際フェリーターミナルの形成を検討していきます。  (施策Ⅳ 港を中心とした観光誘致) (施策Ⅴ ふ頭再編による貨客分離)
8	井の口川の不法係留が多いので、船を係留する場所をたくさん作ってほしい。	井の口川をはじめ多数の不法係留が確認されており、関係者と協議しながら、これら放置艇対策のため小型船溜まり等を整備します。あわせて、放置等禁止重点区域の設定等のソフト対策を実施します。  (施策Ⅴ ふ頭再編による貨客分離)

No.	意見	意見に対する県の考え方
9	<p>敦賀港の取扱量を増やす取り組みとして、荷主に対する補助制度を拡充してはどうか。</p>	<p>一層の集荷に向けて、敦賀市等の地元自治体とともに、港を利用する企業等に、敦賀港利用の働きかけを行う中で、必要に応じて補助制度の見直し等を検討していきます。</p> <p>(施策Ⅰ 日本海側高規格ユニットロードターミナルの形成)</p>
10	<p>将来的に民間施設を港周辺に誘致するためにも、社会実験の意味も込めたイベントを敦賀港・金ヶ崎緑地周辺で定期的を実施していくことが大事。かつて行われていたサマーフェスティバルのような定期的なイベントを実施できる環境、公共からの支援も検討していただきたい。</p>	<p>市民団体「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会により開催されている敦賀港イルミネーション「ミライエ」が好評を博していることから、引き続き関係機関や市とともに官民一体となってソフト施策の積極的な展開を図っていきます。</p> <p>(施策Ⅳ 港を中心とした観光誘致)</p>